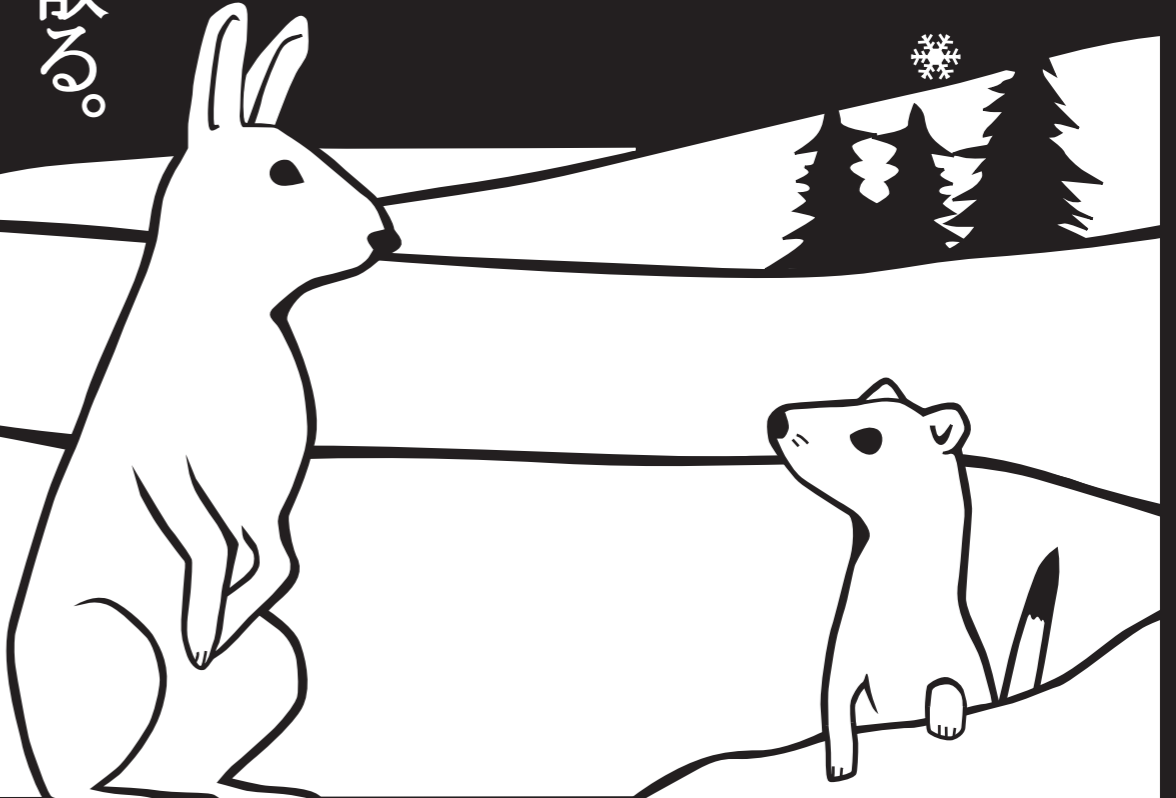


雪の華、 舞い散る。

冬、私はいつものように川沿いを散歩していました。雪は積り、川は氷り、辺りは静まり返っていました。「ガサガサ」と物音がして、私の前を何かを通り抜けたんです。私はビククリして見回したけど、辺りは真っ白。不思議に思っていると、雪が動いているんです。よく見てみると、それは真っ白なユキウサギ。チラッとこつちを見たかと思うと、すごいスピードで雪の中を駆け抜けていったんです。気が付いたら、私も膝くらいまで積った雪の中、足跡を追っていました。後をつけていると、急に足跡がグルグル、グルグル、行ったり来たり縦横無尽に……。これは、「とめ足」といって敵の目をくらますためのユキウサギの習性。私は敵だと思われてしまったみたいで、可哀想なことをしてしまいました。今度は夏の君に会いたいです。



牛朱別川は十九世紀の開拓時代から何度も洪水を起こしてきました。牛朱別川の洪水を石狩川へ分流させる水路として建設されたのが永山新川です。昭和五十九年の計画着手から、地域の理解と協力を得ながら、二〇年の歳月をかけ完成しました。「地域に親しまれる川づくり」をめざし、自然とのふれあいや地域との連携を柱に水辺空間を整備してきました。エゾユキウサギは日本では北海道にしか生息していません、ノウサギと似ていますが、やや大型です。平地の草原や開けた林などに単独すみ、夜行性です。そして、最高時速八〇・のスピードで草原を駆け抜けます。エゾオコジョは全長二〇・ほどのイタチ科の動物です。昼夜行動します。夏は山で暮らし、冬は人里近くまでおられます。エゾユキウサギもエゾオコジョも冬になると敵から身を守るため、毛が真っ白になります。

「エリア」

永山新川は4つのエリアに分かれています。「水辺やすらぎゾーン」「水辺観察ゾーン」「親水ふれあいゾーン」「自然体験学習ゾーン」です。各エリアでそれぞれの楽しみ方があります。

旭川開発建設部 旭川河川事務所